

# SuperMap iDesktop 10i(2021)SP1 リリースノート

デスクトップ GIS『SuperMap iDesktop 10i (2021) SP1』をリリースしました。2021 年 11 月に SuperMap iDesktop 10i(2021)リリース後、今回、SP1 をリリースすることになりました。SuperMap iDesktop 9 D/10i の製品をお持ちのユーザー様は無償でバージョンアップでき、同等エディション・拡張モジュールのライセンスをそのままご利用可能です。拡張モジュールの追加については、弊社の各営業部門・営業担当者に気軽にお問合せください。

SuperMap iDesktop 10i(2021) SP1 は、従来のリリースに、以下の機能追加や性能向上が含まれています。

## オンラインサービス

- ワークスペースには既存のワークスペース（ファイルタイプ、データベースタイプ）に加えてオンラインワークスペースを追加しました。登録ユーザーに対するオープンサービスとしてオンラインマップ、オンラインデータ、オンラインシンボルライブラリ、オンラインカラースキーマ、オンラインテンプレート、個人センターなどが利用可能です。オンラインサービスは日本スーパーマップが運営する「時空間日本」が利用できます。
- オンラインサービス「時空間日本」では、逐次オープンデータサービスを追加して、データ、マップ、3D シーン、ダッシュボード、データインサイトを提供し、登録ユーザーにはユーザーデータ、マップ、3D シーンの共有を可能しました。当面は SuperMap 製品ユーザーには約 2GB の無料ストレージを提供し、製品以外の登録ユーザーには参加するグループデータや共有されたデータのビュー機能のみを提供します。なお、一般公開しているものについては、登録しなくても閲覧可能です。

## データ管理

- SQL Plus データベース型データソースを開く機能を改良しました。データベースドライバータイプの設定もサポートしました。

## データ処理

- [重複ノードの消去]機能を追加し、重複ノードを消去し、ポリゴンの形状を変更することなくデータの軽量化とレンダリング効率の向上を実現します。

## マップタイル

- [タイル検査]機能を改良しました。
  - ・ フォルダ設定を改良し、\*.sci ファイルの直接指定をサポートします。
  - ・ MongoDB のラスタタイルとローカルの GIFF、JPG、PNG8 形式のラスタタイルの検査をサポートしました。
  - ・ データセットの範囲を検査範囲に指定することが可能となりました。
  - ・ 検査待ちのタイルレベルを設定することが可能となりました。
  - ・ 検査結果の表示方式を改良しました。タイルエラータイプのラベル主題図を作成し、タイルのエラータイプを明示することが

可能となりました。

- ・ 検査結果の保存パスを指定することができました。
- ・ 検査結果を CSV 形式ファイルに出力することが可能になりました。ファイルにはエラーの数、タイプ、エラータイトルの行列番号を記録しています。
- ・ 検査結果の保存方式を改良しました。結果のデータソースとマップをワークスペースに保存することが可能になりました。
- ・ 検査結果の出力情報を改良し、レベル別のエラータイトル数とエラータイプ別のタイトル数を表形式で出力します。
- ・ 境界チェック機能を追加し、各縮尺レベルで境界線をまたがるタイトルのエラーを簡単にチェックし、注記することが可能となりました。

## その他

- 地理院地図などの Web データソース接続先を [https://\\*\\*\\*](https://***)に変更しました。